

つばさ 翼

No.84

発行日 令和6年10月

尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院

〒722-0393

広島県尾道市御調町市124番地

TEL 0848-76-1111 (代表)

FAX 0848-76-1112

<http://www.mitsugibyoin.com>

人生100年を見据え生涯にわたる健康づくり

4月から御調保健福祉センター所長兼公立みつぎ総合病院副看護部長を拝命しました。保健師として就職し、普段は御調保健福祉センターに勤務しています。先輩や地域の皆さまにご指導いただきながら健康づくりに関わってきました。どうぞよろしくお願いいたします。

私が勤務する保健福祉センターは、公立みつぎ総合病院に隣接しており、行政部門と病院の在宅ケア部門があります。妊娠期から高齢期まであらゆる世代を対象に、ライフステージに応じた保健・医療・介護・福祉を一体的に提供し、地域住民の健康づくりを推進しています。

行政部門は、高齢者及び障害福祉等の窓口や、専門職を活用した地域での保健事業・健康づくり推進事業を担当する健康福祉係と、保健師を中心に母子保健・子育て支援から高齢者までの中高齢者及び精神保健事業等を担当する地域ケア係で構成されています。

在宅ケア部門は、訪問看護ステーション、ホームヘルプステーション、居宅介護支援事業所、介護予防センター、尾道市北部地域包括支援センターがあり医療・介護が必要な住民の在宅生活を支援しています。また尾道市社会福祉協議会の御調支所も併設されており、全体で約70人の職員が働いています。

ライフステージごとに課題がある中、母子保健では一人一人を大切に妊娠期から切れ目のない伴走支援を行い、若年層には、公立みつぎ総合病院医師や専門職と一緒に高校生や小学校PTAを対象に、生活習慣病予防や子どもの頃からの健康づくりをテーマに「健幸わくわく」として出前講座を行っています。中高齢者に対しては、生活習慣病だけでなくフレイル予防も積極的に行い、地域へ出向き、住民の皆さまとつながりながら健康寿命の延伸に向けて健康づくりに取り組んでいます。

今年は公立みつぎ総合病院と保健福祉センターで行う御調地区健康福祉展が40周年を迎えます。「地域と共に40年 未来につなげよう福祉の輪」を全体テーマとして10月26日(土)に開催します。5年ぶりの講演会も行うことになり、公立みつぎ総合病院の講義室で13時30分から御調町出身のウエルシアホールディングス株式会社 代表取締役会長 池野隆光さんの記念講演があります。皆さまの多数のご来場をお待ちしております。

今後も、人生100年を見据えて、地域が活性化し、住民の皆さまがいきいきと暮らせるように、病院・保健福祉総合施設と連携して健康づくりの推進に努めてまいります。



副看護部長
兼保健福祉センター所長
兼介護予防センター所長

佐藤 妙子

シリーズ 医療最前線

アルツハイマー病とは

認知症の原因となる疾患にはいろいろな病気がありますが、最も頻度が高い病気がアルツハイマー病です。

アルツハイマー病では症状が出る何年も前からアミロイドβという異常物質が脳内に蓄積しはじめます。

このアミロイドβが塊となって神経細胞が障害されてくると脳の働きが落ち、アルツハイマー病による軽度認知障害という認知症の前段階を経て、アルツハイマー型認知症へとゆっくりと進行していきます。

レケンビ® (一般名レカネマブ)

従来の認知症の薬 (抗認知症薬) は神経細胞の機能低下を補うような作用を持つもので症状改善薬と呼ばれています。

2023年12月に新しく発売されたレケンビ® (一般名レカネマブ) はアミロイドβの塊になる直前の状態に作用し、免疫反応でこれを脳から除去していく作用をもちます。

これまでの薬と違い、病気 (疾患) の根本的な原因を改善して認知症の進行を直接抑制する効果が期待出来る薬です。「アルツハイマー病による軽度認知障害」と「アルツハイマー病による軽度の認知症」の方が対象となります。

この薬によって脳内のアミロイドβ蓄積量が減り、症状の悪化のペースを抑えることはできますが、認知症が治るわけではありません。けれど、日常生活動作の衰えを緩やかにすることができ、自立した日常生活を送ることができる期間の延長が期待されます。

治療を受けるには

まずはもの忘れなどの症状があり、その原因がアルツハイマー病であることをしっかり診断する必要があります。このため、医師の診察・神経心理検査・血液検査・頭部MRI検査などを受けていただきます。これらの検査で治療対象となることや安全に治療を受けることができそうかどうかを確認します。

その上で髄液検査を受け、アミロイドが脳に溜まっていることを調べる必要があります。

この薬は検査や設備面などで、一定の基準を満たした病院でなければ対応できません。

No.61

アルツハイマー病の新規治療薬 レケンビ® (一般名レカネマブ) について



脳神経外科医長
リハビリテーション科医長
出端 亜由美

治療のスケジュール

通院していただき2週間毎に1回1時間の点滴治療を行ないます。

治療の過程で頭部MRI検査を受けて脳に過度の負担がかかっていないか確認します。もし負担の徴候が見られるようであれば一時休薬します。有効な効果を得るために18ヶ月間の治療が望まれます。

治療中の注意

点滴に伴う反応として頭痛・悪寒・発熱・吐き気・嘔吐・アレルギー反応などの症状が出ることがありますが、何かあれば医師や看護師が対応します。

またアミロイドβを除去する過程で脳に負担がかかり、脳の浮腫や出血が起こることがあります。多くは無症状ですが、まれに頭痛、錯乱、視覚障害、眩暈、吐き気、歩行障害などの症状が現れることがあります。脳への負担が強い場合には一時的な治療休止や中断が必要な場合もあります。

治療費用

医療費(薬剤のみ)は1月あたり約33万円で、保険適応後の自己負担額は1割負担で約33,000円、2割負担で66,000円、3割負担で約99,000円になります。

さらに高額療養費制度が利用できますので、年齢や収入に応じて一定の自己負担額を超える分の払い戻しがあります。診療行為や所得によって負担上限額は変わります。

レカネマブ治療の対象と概要 アルツハイマー病

治療候補	アルツハイマー型認知症		
	軽度	中等度	重度
認知機能の低下はあるが、日常生活には大きな支障ない	認知機能の低下があり、日常生活には支援要す	日常生活に多くの障害があり、介護が必要	多くの介護が必要

治療前

PETなどでアミロイドβ確認
MRIで安全性確認

治療対象

治療

二週間に一回一時間の点滴 1年半

安全性確認

5,7,14回目の点滴前にMRI

薬価概算：年間400万円(薬剤費30万円/月+診療費・検査費)

(総合病院聖隷三方原病院ホームページより)

さいごに

レケンビ®はアルツハイマー病に対する画期的で期待が持てる薬です。しかし実際に治療対象となる方は限られるため、気になる症状があれば早めの受診をお勧めします。またレケンビ®が使えない場合でも、従来の治療薬・生活習慣の改善やリハビリなどで症状を緩和できることもありますのでご相談ください。

デイサービスセンター

デイサービスセンターについて

デイサービスは、自宅で生活している方で、要支援・要介護の認定を受けられた方や、事業対象者の方を対象としたサービスです。利用日は月曜日から金曜日（祝日を除く）で、利用回数は利用者さま、ご家族、ケアマネジャーなどの関係者と相談して決めます。

朝9時30分から夕方16時30分まで、ゲームや体操、間違い探しなどの脳トレなどをして過ごしていただいています。入浴は温泉水を使用しており、しっかり温まることができると好評です。



デイサービスの特徴のひとつに作業療法があります。帽子やマフラーなどの編み物や財布などの革製品、切り絵やきめこみパッチワーク（縫わないパッチワーク）など作業療法士を中心とした職員と一緒に、さまざまな作品づくりに取り組みられています。

写真は、作業療法の一場面と、完成した作品です。利用者さまからは、「皆とおしゃべりできるのが楽しい」「いろいろなことをさせてもらえるので来るのが楽しみ」と言っています。

デイサービスを利用することで、可能な限り生き生きと豊かな生活を継続していただくことを目指しています。



みつぎの苑 デイクア

願い事がかないますように…☆

通所リハビリテーション（通称：デイクア）では、7月7日が七夕ということで、7月の行事として、利用者さま、職員で短冊に願いを書きました。【いつまでも、健康で仲良く】とご自身やご家族の健康、また、デイクアに通われている皆さまの健康を願われ書かれている方、「このまま、ずっとここに通ってこれたら、友達にも会えるし嬉しい」と話され、【ここにずっと通ってたくさん笑えますように】とデイクアに来ることを楽しみにされている方もおられました。

「戦争はいけない。他の国では戦争をしている国があるから、早く終わってほしい。私は戦争を経験して、空襲の中を逃げたんだよ」と、昔のことを教えてください、【平和な世の中が続きますように】と戦争のない世の中を願い書かれている方もおられました。

御調町内外で猿が出没するため「畑に猿が出て、野菜や果物を食べるんよ…」と話され、【猿の被害が少しでも減ってほしい】など、各々に感じる思いを短冊にこめられていました。短冊は、デイクアホールに飾らせていただきました。



音楽療法では、音楽療法士によるピアノ伴奏で「たなばたさま」の歌を歌いました。今後も、季節ごとに楽しめる行事を考えていきたいと思います。

デイクアでは、利用者さまの身体機能の回復や維持、日常生活の訓練、認知機能の改善を目的として、リハビリや入浴、食事、レクリエーションを日帰りで提供しています。これからも、リハビリやレクリエーション等を通じて、利用者さまがいきいきと在宅生活が継続できるよう、職員一同支援させていただきます。



多職種チームでの関わり

公立みつぎ総合病院では、多職種連携チームで患者さまに関わらせていただいております。

リハビリ部でもスタッフとの連携を図りながら栄養、摂食嚥下、褥瘡（床ずれ）、口腔ケア、排尿ケア、心不全、透析など多くのチームに参加し、医師や看護師をはじめとした多職種の専門スタッフと意見を交わしながら、患者さまの支援をさせていただきます。

先日は歯科スタッフと共同で車椅子から治療台への移乗方法の勉強会を行いました。

体に負担のかからない姿勢や介助方法などを、それぞれの専門性に基づきながら意見交換をし、理解を深めました。

今後も勉強会やミーティングを継続的に行い、患者さま、ご家族に質の高い医療、ケアを提供できるように努めてまいります。



リハビリ部 理学療法士
平井 佳晃



脳卒中認定理学療法士の紹介

私は、2019年4月に脳卒中認定理学療法士の資格を取得しました。

現在は介護老人保健施設「みつぎの苑」で、利用者さまにリハビリテーションをさせていただきます。

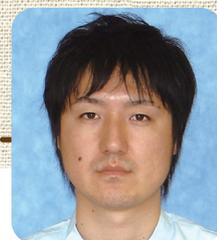
脳卒中認定理学療法士とは、脳出血や脳梗塞など、脳血管疾患の領域における知識と技術を身につけた理学療法士です。

脳卒中認定理学療法士は、脳卒中の病態を深く学び、また科学的な視点で症状や施術による影響を分析する訓練を受けており、脳卒中の利用者さまの個別のニーズにより的確に対応でき、かつ利用者さまたちが抱える問題を、より高い専門性で解決する方法を身につけています。

病院内、あるいは地域・社会の中で脳卒中により障害がある方や高齢者が、住み慣れた地域で安全かつ自立した生活が送れるように支援に取り組んでいきます。

脳卒中のリハビリテーションは一時的なものではなく、継続することが重要です。

理学療法士のみではより良いリハビリテーションを提供することは難しく、多職種との連携が必要です。今後も利用者さまのニーズに合わせたリハビリテーションを提供できるように努めてまいります。



脳卒中認定理学療法士
永井 学

尾道市民の
みなさまへ

飲酒に関する問題を考える会です

尾道市民なら
誰でも参加OK

酒をやめたくてもやめられない…
家族の飲酒に悩んでいる…
酒ってそんなに怖いのか…
保健師が個別の相談にも応じます

お酒と上手に
付き合う方法は？

もう一度考え直そう酒について
お酒で悩んでいる仲間が話し合っています
※この会で知り得たことは口外しない
ことが約束されています

アルコール依存症は
回復できます

酒の害について一緒に
考えましょう
DVDなど教材を使って
アルコール問題について
学習します

酒を
考える
会

日 時 毎月第2・第4水曜日
午後1時30分～2時30分
場 所 御調保健福祉センター
保健指導室
問合せ先 御調保健福祉センター
TEL 0848-76-2235

令和6年11月6日(水)午後1時30分～3時
【お知らせ】「お酒と健康について」の講演会(場所:御調保健福祉センター)を
予定しています。詳しくは、『広報おのみち10月号』をご覧ください。

病院ボランティア募集

あなたの“ボランティアの心”を
生かしませんか？

公立みつぎ総合病院では病院ボランティアを募集しています。



【写真展示】



【絵手紙】

絵手紙、押し花、写真展示など
興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

【問い合わせ先】 公立みつぎ総合病院 地域包括ケア連携室 TEL 0848-77-0955

職員の紹介

入職して1年半が経過としております。患者さまをはじめ、ご家族や多職種の方々との関わりが増え、やりがいを感じる一方で、まだまだ未熟さを実感する日々を過ごしております。



薬剤師
きわだ まほ
木和田 真帆

当院の地域包括ケアシステムに相応しいサービスが提供できる薬剤師を目指して、これからも患者さまや多職種の方々とのコミュニケーションを大切に、日々の業務を通してたくさん学んでいきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



公立みつぎ総合病院に入職して年月を重ね、いつの間にか後輩が増え、中堅看護師と呼ばれる立場になりました。後輩看護師へ指導する立場になりました。自分自身まだまだ未熟で分からないことも多く、先輩方に支えていただきながら日々の業務を行っております。



看護師
たけなか
竹中 ののみ

私は現在、地域包括ケア病棟に勤務しております。今までの経験を活かし、患者さまが安心して入院生活を送り、退院できるようにサポートしていきたいと思っております。

私は、患者さまと関わる上で「笑顔」を大切にしております。少しでも、患者さまやご家族の気持ちに寄り添える看護師でありたいと思っております。

これからも初心を忘れず、日々精進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

公立みつぎ総合病院へ入職して4年目になります。医事課、保健福祉総合施設を経験し、この4月より再び医事課に勤務しております。医事課では、主に診察に係る受付業務、外来・入院に係る請求業務、病院の収益に係る施設基準の届出と管理を行っております。



主事
おかだ かずき
岡田 一輝

今年は新型コロナワクチンが定期接種対象となってから初めての年であるため、スムーズに接種できるよう各部署と連携して体制を整えていきたいと思っております。また、今年度は診療報酬改定の年であり、病院の収益向上に取り組み、安定した医療サービスを提供するために重要な年であることを意識して、日々の業務に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

老人保健施設みつぎの苑の一般棟へ入職し、1年が経ちました。

業務内容の把握や理解が進み、時間管理も少しずつですができるようになりました。

入職時は自身の余裕がなかったこともあり、利用者さまにも不安な気持ちが伝わっていたのではないかと反省しました。2年目に入り、今後の目標として「この人なら任せられる」と言ってもらえるような職員へと成長していけたらと思っております。



介護福祉士
くらはが こうへい
倉永 浩平

これからも、利用者さまとのコミュニケーションを大切に、良好な信頼関係を築けるように心掛け、介護の質を向上させるために自己研鑽を続け、チームの一員として先輩方のご指導を仰ぎながら、業務に励みます。

また、趣味でキャンプをしており、良いリフレッシュができています。仕事と趣味のどちらも全力で打ち込みたいと思っております。



医師異動のお知らせ



新任医師



内科医師
さな だ てつ ろう
眞 田 哲 郎

10月より赴任する内科の眞田哲郎と申します。患者の皆さまに信頼される医療を提供することを目指しています。患者さま一人ひとりに寄り添い、地域医療の向上に貢献できるよう努めてまいります。

退任医師

内科医師
ふじ た
すぐる
藤 田 俊

第40回

尾道市御調地区健康福祉展

「地域と共に40年 未来につなげよう 福祉の輪」

- 日時：10月26日(土) 10:00~15:00
- 会場：公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター、みつぎいきいきセンター

●第40回記念講演会 13:30~ 病院5階講義室

ウエルシアホールディングス株式会社
代表取締役会長 **池野 隆光** さん



演題 地方にこそ無限の可能性がある

- 尾道警察署コーナー (パトカー等展示)
- ドリームポニー (ポニー乗馬とえさやり体験)
- コツコツ健康増進号 (骨密度測定ほか)

- ### みつぎマルシェ
- すだちの家 ●あやめの里 ●カイト御調
 - パンと ●市薬局 ●はびままクローバー
 - 御調町食生活研究グループ
 - 尾道御調ライオンズクラブ ●ネモフィラコーヒー
 - 河野園芸 ●みつぎ被服 ●みつぎのめだか
 - 御調高等学校 ●手作りクラブ copain
 - あすなる薬局 ●御調地域保健推進委員会 ほか

ふれあいステージ

- オープニング (主催者あいさつ)
- mfメゾフォルテ・コンサート ●UNITY
- 御調みに幼稚園 ●御調西保育所
- 御調西小学校 ●サンサン倶楽部
- アロハローゼ ハウオリ ケイキ ●傘おどり
- 御調ジャズダンス ●シルバーリハビリ体操
- 綾目沖縄エイサー教室 ●備後かわち太鼓 ほか

体験コーナー

- ボランティア体験 ●白衣体験 ●調剤体験
- 昔の遊び体験 ●トレーニング機器体験
- 子どもコーナー ●防災コーナー ほか

- 健康づくり活動パネル展
- スタンプラリー
- 測定コーナー
- 相談コーナー

【主催】尾道市 【問い合わせ先】 御調保健福祉センター TEL 0848-76-2235

ご意見、ご感想をお聞かせください

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えております。ご要望をお待ちしております。

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyoin.com
ホームページは「みつぎ病院」で検索

発行：尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会